



平成26年10月28日
松ヶ崎小学校学校運営協議会
広報委員会

地域のほこり 菜の花漬け

～地域学習・体験学習を大事にして～

「菜の花の種まきに来てください。」
と校区にお住まいの三宅秀典さんから声をかけていただきました。

毎年、本校の子どもたちは、三宅秀典さんの畑に行かせていただいているのです。

今年も1年生が10月16日(木)に菜の花の種まきをさせていただきました。

一人ひとりに種を配ってくださると、子どもたちは、「うわあ、小さい!」

「あさがおの種とちがうわ。」

「こんなにたくさん?」

と、驚きの声をあげていました。

そして、いただいた種を大事に持ちながら、種まきができるようにしてくださった畑に移動。

一列に並んで、種まきの開始です。

「大きくなあれ。」

「かわいい花が咲いたらいいな。」

と、願いをこめながら、大事に大事にまきました。

この日は、特別に種まきをする道具も見せていただきました。

学校に戻ってからは、気づいたことやわかったこと、感想などを出し合い交流しました。

来年の春は、黄色いかわいい花が咲くことでしょう。



三宅秀典さん
ありがとうございます。
ございます。



4月17日(木)の菜の花畑です。昨年度の1年生(現2年生)が種まきをさせてもらった畑。

2年生は、花摘み、そして、漬け込みのご指導を三宅秀典さんにしていただいています。

この日は、午前中に花摘みをさせていただき、午後には、家庭科室で、漬け込みの指導もさせていただきました。



6年生は、「菜の花漬けを広めたい。」という気持ちをいっばいに表した催しを企画しました。

ポスターやちらし、ぬりえ、紹介ビデオ、そして、菜の花漬けの配布。

5年生から総合的な学習の時間を使って調べ続けてきた菜の花漬け。その学習の総まとめとして、5月13日（火）参観日に来てくださった保護者の方々に発信しました。

……菜の花漬けだけではありません……

3年生の社会科「農家で作られるもの」の学習においても、三宅秀典さんの畑を見学させていただきました。子どもたちは、「どうしてネットを張っているのだろう。」

「育てた野菜はどうするのだろう。」

という疑問や、

「たくさんの種類の野菜を育てている。」

「畑の横に流れているのは用水路で、畑の水遣りに利用しているんだ。」

ということに気づいたりしていました。

その後、「土作り」・「種まき」・「育て方」・「収穫」・「出荷」という観点から農家がされている工夫を予想し、実際はどうなのかを、再び三宅秀典さんの畑に行き、質問させていただきました。子どもたちは、普段食べている野菜には、農家の人のどんなおもいがこめられているのかを感じとったことでしょう。

10月17日（金）の様子です。



本校は、京都市教育委員会から「21世紀型ICT教育の創造モデル事業調査研究」の指定を受け、環境教育の学習をおこなっています。

体験・言語活動の充実を重視し、「自分のおもいをもち、互いに学び合い高め合う子」をめざして、研究を深めています。

ここでは、子どもたちが自ら課題を設定し追究していきます。

課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・発表 このサイクルを繰り返し、追究していくのです。これは、教師中心の学習ではなく、学習者中心の学習です。このようなスタイルで学習することで、子どもたちは、力をつけていきます。

自然ゆたかな松ヶ崎の地域で、さまざまな体験させてもらうことは、子どもたちにとって、ほんものの力となって生きて働くでしょう。自身が実際に目で見て感じたことは、忘れることはありません。そして、それが言葉となって表現されていきます。さらに、友だちとの交流を通して深まっていきます。

地域の皆様方には、今後もいろいろとお世話になりますが、どうぞよろしく願いいたします。